

令和 6 年度の火山本部の広報活動について

令和 7 年 3 月 4 日

火山調査研究推進本部事務局

火山本部の令和6年度の広報活動

日付	広報活動
6月28日	火山本部ニュース 創刊号
8月7日～8日	令和6年度 こども霞が関見学デー
8月26日	8/26『火山防災の日』制定記念イベント
10月20日	ぼうさいこくたい2024 セッション 【地震本部30年と火山本部の設立 ～地震本部の成果と課題。火山本部へどう活かすか？～】
11月25日	火山本部ニュース 第2号
1月11日	火山本部地域講演会 in 群馬 ～火山がもたらす災いと恵み～

凡例

講演会・イベント

火山本部ニュース



広報誌「火山本部ニュース」

火山本部地域講演会

令和6年度 こども霞が関見学デー ～来て見て触って！地震・火山の体験・展示コーナー～

➤ **日時：** 令和6年8月7日（水）・8日（木）10:00-16:00

➤ **概要：**

「こども霞が関見学デー」は、子供たちに政府の施策に対する理解を深め、活動を通して親子の触れ合いを深めてもらうことを目的とし、各府省庁等が連携して行っている取組である。

地震本部と火山本部は、防災科学技術研究所、気象庁、内閣府（防災担当）と協力し、地震・火山に関する知識の普及、防災教育を行う機会とするため、「来て見て触って！地震・火山の体験・展示コーナー」の出展を行った。

➤ **開催結果：**

「VR地震体験コーナー」では、2日間で延べ1,000名に迫る来場者がVRによる地震の揺れの映像を体験した。

また、「火山って何？」のコーナーでは、実際に手で持ち上げることができる火山弾の展示や、火山ジオラマの展示、火山灰の配布展示やパネル展示を行った。

このほか、気象庁、内閣府（防災担当）の地震、火山や防災に関するポスターの掲示や、チラシや広報誌の配布を行った。



こども霞が関見学デーの様子

ぼうさいこくたい2024 セッション 地震本部30年と火山本部の設立 ～地震本部の成果と課題。火山本部へどう活かすか？～

➤ **日時：** 令和6年10月20日（日）10:30-12:00

➤ **概要：**

防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）は、内閣府などが主催し、産官学、NPO・市民団体や国民の防災活動を発表・交流する日本最大級の防災イベントである。令和6年は熊本県熊本市で開催され、地震本部は、4月に設置された火山本部と合同でセッション形式の出版を行った。

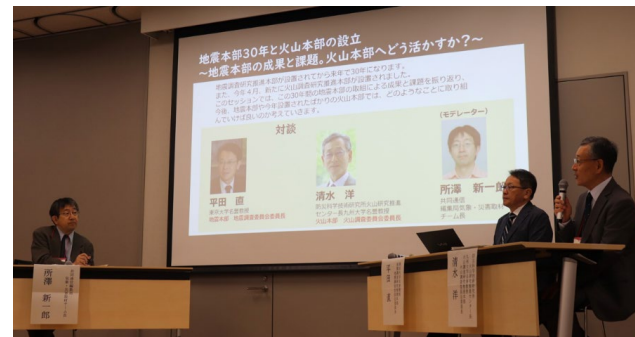
➤ **開催結果：**

セッションでは、初めに話題提供として地震本部・火山本部事務局から地震本部の役割や成果を紹介するとともに、火山本部の設立や取組について紹介した。

対談「地震本部の成果と課題。火山本部へどう活かすか？」では、地震本部地震調査委員会委員長と火山本部火山調査委員会委員長の対談により、地震本部が設置されてから30年間の取組による成果と課題を振り返るとともに、地震本部や今年設置されたばかりの火山本部が今後取り組むべきことについて、議論を行った。



話題提供の様子



対談の様子

火山本部地域講演会 in 群馬 ～火山がもたらす災いと恵み～

➤ **日時：** 令和7年1月11日（土） 13:30-15:30

➤ **概要：**

日本で最初の火山観測所が設置された浅間山を擁する群馬県で、地域住民が火山災害に対する政府の取組などを知って、災害への備えを改めて考えることを目的として、火山本部、前橋地方気象台、群馬県、高崎市、浅間山ジオパーク推進協議会が連携し、火山本部初となる火山本部地域講演会を開催した。

➤ **開催結果：**

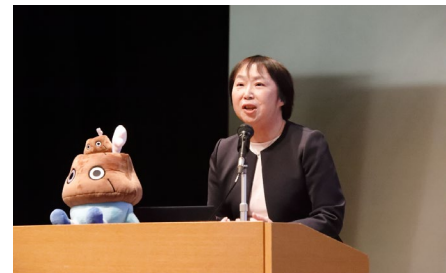
講演会の開催に当たり、初めに火山本部事務局から火山本部の設置背景や取組を紹介した。

東京大学 武尾実名誉教授からは浅間山の火山観測と災害予測について解説いただき、浅間山ジオパーク推進協議会 古川広樹専門員からは浅間山北麓ジオパークから学ぶ火山防災について紹介いただいた。最後に、前橋地方気象台 大和田浩美台長からは気象庁が発表する火山の情報について説明いただいた。

会場には約120名の参加者が来場し、会場では火山に関するポスターやパネルに加え、実際の火山弾などの展示が行われた。参加者からは、火山観測や過去の火山災害について学び、改めて火山の近くに住んでいることを自覚する感想が寄せられた。



講演会のチラシ



大和田台長 ご講演の様子



展示の様子

火山本部ニュース

令和6年6月に創刊号、11月に第2号を発行した。火山本部ニュースでは、火山本部の紹介や公表物の説明、広報イベントのレポートなどを掲載している。

都道府県、火山本部関係行政機関にメールで発行をお知らせするとともに、地域講演会をはじめとする火山本部の広報イベントにおいて配布を行った。



創刊号



第2号

火山調査委員会の審議結果の地方公共団体等への広報

火山本部事務局では、火山調査研究の成果を地方公共団体等における防災対策にも利活用できるよう、地方公共団体等の担当者向けの取組として説明会を開催している。

令和6年度は、第3回火山調査委員会で取りまとめた111の活火山の現状の評価等について、説明会を開催した。

日本の活火山（全111火山）

